人生は逆算するべし：エンドゲームを考えて駒を進めよ

とある企業説明会にて登壇者が「私は成長したいと思い、この会社に入社しました」と答えたので私は、「どうして成長したいと思ったのですか？」と質問をしました。

そうすると、登壇者は「この会社では、プロジェクトの最初から最後までを一人で責任者として任せてもらえるので、成長出来ると思ったので入社しました。」それに対して私は、「いやいや、この会社で成長出来るかどうかの話では無くて、何で成長したいと思ったんですか？何か目標、ゴールがあるんですか？」と聞いたら、「ああ、そう言う事か…う～ん、社会に貢献したいからかなｗ」と言う浅はかな解答を頂いたのをよく覚えています。

私が知りたかったのは、登壇者がどんな目標やゴールを抱いていて、それに対してどう逆算しているのか？と言う思考を知りたかったのですが、特に思い描いた道筋は無かったようで。

「成長したい」と思うからには、成長した先の何かのために成長したいと思っているはず。成長して金を稼ぎたいのか、誰かに認められたいのか、誰かに貢献したいのか、何かしら成長したいと思う理由があって、金、ステータス、貢献と言うゴールを見据えて日々精進すると言う道筋があるはず、と思う訳です。

それに対して「誰だって成長したいだろうが」と反論してくる人が居るかもしれませんが、例えば公務員になった人が成長を求めて公務員になったとは思えない。安定を求めている人間は成長したいと言う意欲は無いと思うわけです。

結局、何が言いたいか？

「人生、逆算するべし」と言う事です。

死の間際のベッドで、人生を振り返った時、どんな記憶を辿りたいか考えて生きるべし。

「何が欲しいんだ？何がゴールなんだ？どんな人生だったら満足して土に帰れるんだ？」と終着点を考えて生きると、日々あなたがどう活動するべきなのか？と言う事が分かるでしょう。

「何が欲しいか分からない。ゴールが見つからない。」と言うあなた。なら「何が欲しくないか。どうなっているのは嫌なのか」と言う事を考えてみると良いでしょう。

「無職にはなっていたくない。病気にはなっていたくない。友達が居ないのは嫌だ」と言う事が分かれば、そうならないように能力スキルを磨いて成長したり、健康的な食生活と運動をしたり、友人作りや友人の時間を作る事があなたの日々の活動に変わるわけですから。

人生がチェスなら、敵陣の王のクビを獲る事が勝利であり、ゲームの終わりであり、そんなエンドゲームを頭の中でしっかりと思い描いてこそ、あなたの駒をどう進めるのか？と言う事が分かるのでは無いでしょうか？

ですから、むやみに、思考停止状態で見切り発車して、取り敢えず、何となく、生きるのは止めませんか？終着駅を目指して、電車に乗りましょう。